

市議会だより

はまだ

Vol.25

平成24年(2012年)5月1日発行



本会議場で個人一般質問の傍聴や市議会のしくみなどについて学習する市内の小学生たち
(最終ページに関連記事を掲載)

浜田市民の心と特産品を届ける

市民の皆様へお願いをして集まった義援金は、市の支援や浜田市中央水産加工協同組合のご協力により、浜田の特産品である「アジみりん干し」や「ササかれい」など合計4,873 パックを購入し、2月3日から6日の間で、宮城県気仙沼市と福島県相馬市の仮設住宅にお住いの全戸へ届けさせていただきました。

お届けの際、その笑顔にも象徴されるように、現地の皆さんは大変喜んでおられ、浜田市民の心もあわせて、お届けすることができたと思います。

改めまして、市民の皆様のご協力に対し感謝申し上げます。

ありがとうございました。

3月 定例会

注目の記事

原発の即刻廃止にNO！ (2ページ)

美又地域再開発事業 (4ページ)

議会報告会を開催します (16ページ)

3月定例会の あらまし

平成24年3月浜田市議会定例会が2月23日に招集され、3月15日までの22日間の会期で開かれました。今定例会で提出された議案は、市長から提出された議案が58件、議会から提出した議案が議員提出の意見書議案も含めて2件、そして、請願が1件でした。なお、審査の様子は2ページから4ページに、採決の結果等は6ページに掲載しています。

また、会派代表質問には各会派の代表者5名が、個人一般質問には14人が質問をしました。

なお、今年度より各地域で開催される議会報告会については、開催日時や開催会場など16ページに掲載してあります。

今議会の概要として、本会議の議案質疑では、6名の議員から、3件の議案について質疑がありました。

特に質疑が集中した案件は、平成24年度浜田市一般会計予算のなかの美又地域再開発事業でした。本事業の議案提出の経緯や効果、また基本的な考え方などについて、4人の議員から質疑があったところです。

また、浜田市暴力団排除条例の制定については、市民がターゲットになった場合、その対応の記述を求める質疑がありました。そして、一般会計補正予算については、大震災関連の減額内容の詳細な説明と、県知事がのれき処理の報道に対する市の考え方について質疑がありました。

また、予算議案を審査する予算審査委員会を3日間にわたり開催し、延べ37人が質疑をしました。



本会議採決時の様子

島根原発の即刻廃止に

委員会はNO!

— 総務文教委員会 —

総務文教委員会は16件の案件、請願1件について、審査を行いました。

「浜田市暴力団排除条例の制定について」は、

いわゆる理念条例であり、実際の運用としてこの条例をいかに市民に浸透させるのか、との質疑があり、執行部からは、広くPRするために、広報はまだやホームページ、チラシの配布や行政連絡員会議等での周知などを行う。暴力団に関して困ったことが起こり、警察等には相談しにくい場合も、市に相談してもらい、より市民が相談しやすい体制を整えていくと説明がありました。

「指定管理者の指定について(サン・ビレッジ浜田)」は、スポーツ広場が天然芝から人工芝に変わることによる指定管

理料の変化についてや市と指定管理者間の収益の配分について、アイススケート場の管理運営について、全国には優れた管理能力を有するところもあり、公募が望ましいのではないかと、様々な視点から質疑があり、執行部から詳細な説明がありました。

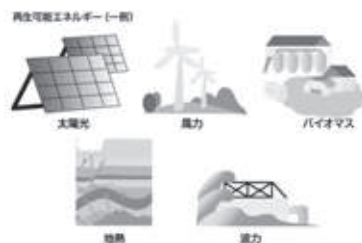
採決の結果、16件の案件は、全会一致で可決すべきものと決しました。



人工芝のサン・ビレッジ浜田

「島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める意見書の提出について」の請願は、

原発の安全性について、国の動向や電力会社の方向性もしっかり確認した上で判断すべきであり、継続審査とすべきだとの意見がありましたが、賛成少数で継続審査は否決されました。



反対意見として島根原発を即刻、停止・廃炉とすることは、現在、福島第一原発の事故検証がまだ明確になっていないなか、正確な検証結果を踏まえた上で判断すべきで、時期尚早のため反対であるという意見。また、賛成意見としては、現在、原発が54基中2基しか稼働していない状況下においても需要がまかなえているという意見がありました。

採決の結果、賛成少数により不採択とすべきことに決しました。



健康づくりと地域医療を 守り育てる条例を制定

ー 福祉環境委員会 ー

福祉環境委員会には、議案6件が付託されました。

このうち、「浜田市健康づくりと地域医療を守り育てる条例の制定」については、健康づくりと地域医療を守り育てるための基本理念、市、市民事業者及び医療機関の役割を制定するもので、その周知方法等について質疑があり、健康教室、各種検診会場等の機会を利用し、住民啓発を行っていくとの答弁がありました。



ラ・ペアーレ浜田

「浜田市簡易水道給水条例の一部を改正する条例」については、三保簡易水道及び三隅簡易水道のクリプトスポリジウム

(原虫) 対策として、紫外線処理施設を建設するにあたり、三保簡易水道に統合するため条例改正を行うもので、簡易水道と給水人口との関係や統合の理由について質疑があり、給水人口5千人を基準に簡易水道と上水道の区分がされること。処理能力のある施設を国からの支援を受け建設でき、効率的な事業運営を行うことができるとの答弁がありました。

「ラ・ペアーレ浜田条例の一部を改正する条例」は、管理の期間を5年に変更することに伴い、条例改正を行うもので、施設の利用者数、事業内容等について質疑がありました。



旧今福デイサービスセンター

「財産の無償譲渡(旧安城保育所)」については、譲渡の相手方を社会福祉法人みかわとするものです。また、「財産の無償譲渡(旧今福デイサービスセンター)」については、譲渡の相手方を特定非営利活動法人Beingとするもので、採決の結果、それぞれ全会一致で、可決すべきものと決しました。



長浜小学校の放課後児童クラブ

クラブの位置を同校舎内に変更するため所要の条例改正を行うもので、入所対象児童の考え方について質疑がありました。

中央図書館建設の工期 来年5月末までを予定

ー 産業建設委員会 ー

産業建設委員会では、付託された議案8件と陳情1件について、審査を行いました。

「浜田市の農林業関係事業分担金徴収条例の一部を改正する条例」については、浜田市としての補助率は幾らかといった質疑がありました。それに対し担当課長から、県が実施している他事業と同様に補助率は7割となっている。今回、受益者に3割以内をお願いするとの見解が示されました。

「浜田市立中央図書館建設に伴う建築主体工事の工事請負契約の締結」については、消費税込みの契約金額か、工期はど

うかなどの質疑がありました。これに対して消費税込みの契約金額であり、工期については、議決を受けた翌日から平成25年5月31日までとしているとの見解が示されました。



浜田市立中央図書館の完成イメージ

また、陳情第21号市道榎田原中央線拡幅工事については、当日の午前中に現地を視察し、午後から開催された委員会でも、改良工事の可能性等、市の見解について質疑を行いました。



陳情の現地視察(榎田原町)

建設部からは、当該地域は地すべり地帯であり、拡幅工事に伴う悪影響が出ないか等について、平成24年度に調査をし、予算調整も行いながら、できるところから実施したいとの説明がありました。

その後、各委員からは、他事業の残土を利用する安価な工法でもあり、早期整備を必要とするとの意見等が多く出され、採決の結果、全会一致で採択することに決しました。



陳情の現地視察(榎田原町)

予算議案23件を

3日間にわたり審査

3月8日から13日までのうち3日間で、予算審査委員会を開催しました。23年度一般会計補正予算などや新年度一般会計予算など、全部で予算議案23件に対し、延べ37人が質疑に立ちました。審査の結果、23件すべてを全会一致で可決すべきものと決しました。

予算審査委員会

予算審査委員会に審査を付託された、予算議案23件のうち、平成24年度浜田市一般会計予算のなかから、特に質疑が集中した事業と、そのやりとりの概要を報告します。

総務文教委員会関係

では、老朽化したスクールバスの更新及び学校統



三隅自治区のスクールバス

合に伴う新たなスクールバスを購入するスクールバス更新事業では、更新するバスの性能やラッピングの統一などについて質疑があり、4WDを装備したバスは購入が難しい、ラッピングの統一については検討したいとの答弁がありました。

福祉環境委員会関係

では、火葬場の統廃合を進めるため、人口の動態や火葬場数など、適正な数値を積算した火葬場整

産業建設委員会関係

では、集落内において、集落自ら守るべき農地の保全計画を策定し、未舗装の農道を地元への原材料支給により整備する地域参加型農道整備事業について、条件や計画の

と答弁がありました。

また、再就職やスキルアップを目指す看護師への支援や中高生の職場体験等を行う看護師スキルアップ・ラボ事業では、事業効果と受講後の看護師の動向などについての質疑があり、受講者の3分の1は復職し、定住に結びつく効果などがあると答弁がありました。

また、再就職やスキルアップを目指す看護師への支援や中高生の職場体験等を行う看護師スキルアップ・ラボ事業では、事業効果と受講後の看護師の動向などについての質疑があり、受講者の3分の1は復職し、定住に結びつく効果などがあると答弁がありました。



老朽化が著しい浜田市火葬場

備計画を策定する火葬場整備計画策定事業では、事業内容や検討組織、必要な炉数などの質疑があり、浜田の火葬場が一番古く、いろんな意見を取り入れ検討する。1万5千人が1炉の目安であるなどの答弁がありました。

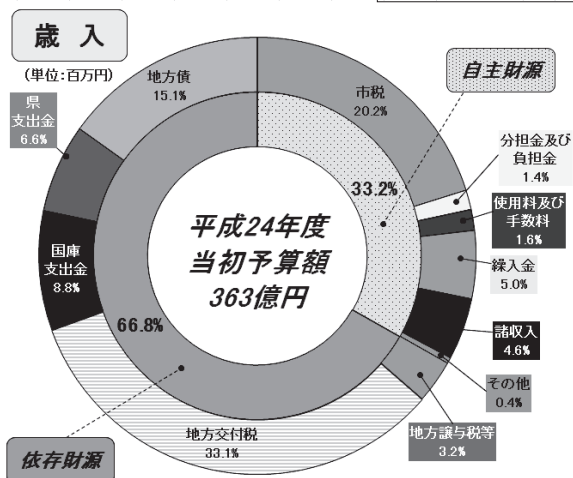
チェック体制などについて質疑があり、自ら計画を立てて、農地保全プランを作ってもらおう。また、代表者とのヒヤリングによりチェックしていくとの答弁がありました。

また、美又地域の活性化を図るため、美又温泉街とその周辺地域の開発を行う美又地域再開発事業では、終盤に質疑が集中し、予算説明と先の委員会での資料説明の整合性がない、このような予算資料の提示はなし崩しになるので、大きな問題、指定管理者との協議が未だになされていないのはどうか、などの厳しい指摘があり、執行部からは、お詫びとともに、予算説明資料の訂正がありました。

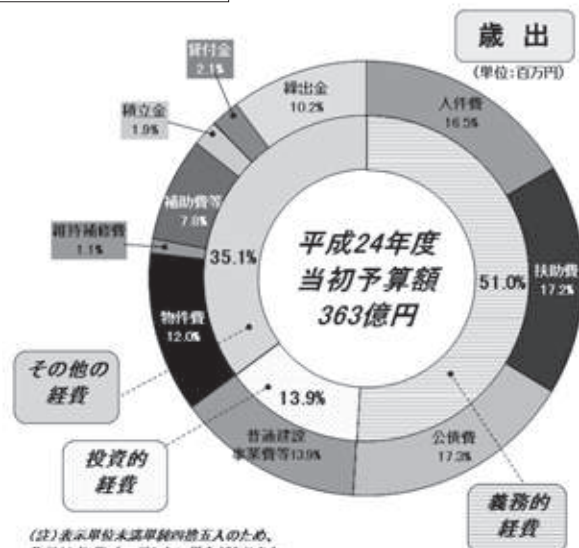


最も質疑が集中した美又地域再開発事業（金城町にある美又温泉の外観）

平成24年度一般会計予算の概要



(注) 表示単位未満単位四捨五入のため、集計は必ずしも一致しない場合があります



(注) 表示単位未満単位四捨五入のため、集計は必ずしも一致しない場合があります



平成24年3月定例会で 可決された主な事業



目指せ！ 対ロシア貿易拡大

—浜田市内にロシアビジネスサポートデスクの開設
貿易支援体制の強化と貿易拡大—

○浜田港口ロシア貿易拡大プロジェクト負担金

- 概要 ①中古車輸出入支援
②RORO船航コンテナ補助
③シー＆レール複合一貫輸送支援
④ビジネス支援 ⑤建材販路拡大支援
⑥食品販路拡大支援 他

○予算額 1,453万円



耐震診断から体育館改築へ！

—災害時の避難所として周辺整備化へ—

○弥栄中学校体育館改築事業

- 概要 総事業費4億1,704万7千円
鉄骨造960㎡
平成26年7月完成

○平成24年度事業計画

用地取得、敷地造成、建物実施設計

○予算額 6,691万7千円



防げ！ 森林の荒廃に林業ビジネスモデル

—コスト削減、生産性向上、持続可能を目指す—

○豊かな海を育む浜田の森づくり事業

- 概要 林業機械作業システム整備補助金
①林業機械導入ITシステム—ハーベスタ、
フォワーダ ②路網の整備 ③人材育成 ④戦
略的木材販売 ⑤木質バイオマスのビジネス化

○予算額 519万9千円



決定！ 骨髄等提供者を支援！

—提供希望者の増加により移植へ期待！—

○骨髄バンクドナー支援事業

- 概要 骨髄バンク事業のドナー候補者が円滑
骨髄等の提供できる環境へ

○支援 入通院1日あたり2万円(上限7日)
浜田市民で骨髄等の提供をされた方

○予算額 42万円



意見書を関係機関へ提出

こころの健康を守り推進する基本法(仮称) の制定を求める意見書

今日の日本は、「国民のこころの健康の危機」と言える状況にあります。それは、平成23年7月6日に厚生労働省が、4大疾患(がん、脳卒中、心臓病、糖尿病)に新たに精神疾患を加えて5大疾病とする方針を決めたことにも表れています。

この背景には、平成20年の患者調査で、糖尿病患者237万人、がん患者152万人などに対し、精神患者の患者数は323万人と最も多く、国民に広く係わる疾患となっていること、また、毎年3万人を超える自殺者の約9割は何らかの精神疾患に罹患していた可能性があることとされているためです。

平成20年度から21年度にかけて厚生労働省は、「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」を設け、現状を網羅的に明らかにし、今後の望まれる施策を報告しました。この報告をもとに、平成22年4月に当事者・家族・医療福祉の専門家及び学識経験者による「こころの健康政策構想会議」が設立されました。

この会議では、当事者・家族のニーズに応えることを軸に捉えて会議を重ね、現在の危機を早く根本的に改革する提言をまとめ、平成22年5月末に、「こころの健康政策についての提言書」が厚生労働大臣に提出されました。

この提言書の中で、精神医療改革、精神保健改革、家族支援を軸として、国民すべてを対象とした、こころの健康についての総合的、長期的な政策を保障する、「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を強く求めています。

よって、政府及び国会におかれては、国民のこころの健康の増進を図るため、「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」を早急に制定するよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成24年3月2日

浜田市議会

請願の委員長報告に対し 2名の議員が討論

委員長報告に対する

★西村 健 議員

福島原発事故は、①いまだ人類は、放射性物質を原子炉内部に安全に閉じ込めておく手段を手にしていない。②ひとたび外部に放出された放射性物質の被害を空間的、時間的、社会的に限定することは不可能などの教訓を与えた。
また、中国地方の電力

反対討論

委員長報告に対する

賛成討論

★佐々木豊治 議員

官民あがての再生可能エネルギーや省エネルギー



本会議で請願を採決時(挙手採決)

—化への促進など、原発に頼らないエネルギー政策への転換は重要であり、国民の総意でもある。しかし、今すぐの廃止は、必要な電力需要に対応できない混乱の恐れや火力のフル稼働による原料やCO₂排出の問題などもある。国は、この夏をめどに、福島原発事故の検証結果に合わせ、新たなエネルギー政策への方針を示す予定で、この結果により対応を検討すべきと思う、委員長報告に賛成とする。

請願・陳情の審査経過および結果 —平成24年3月定例会審査分—

区分	請 願 ・ 陳 情 の 内 容	提 出 者	審査した委員会および結果・経過等
請 願	島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める意見書の提出	原発ゼロをめざす島根の会 代表者 舟木 健治 様 外5名	(総務文教委員会) 不採択
陳 情	市道櫛田原中央線拡幅工事	櫛田原自治会 会 長 三浦 一朋 様 外44名	(産業建設委員会) 採 択

3月定例会 議案などの採決結果

【条 例】	採決結果	採決状況
浜田市行政組織条例等の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市移動通信用鉄塔施設条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市暴力団排除条例の制定	原案可決	全会一致
住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	原案可決	全会一致
浜田市生活路線バス条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市特別会計条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市税条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市手数料条例の一部改正(建設部関係)	原案可決	全会一致
浜田市手数料条例の一部改正(消防本部関係)	原案可決	全会一致
浜田市教職員住宅条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市立図書館協議会条例の一部改正	原案可決	全会一致
教育施設に係る指定管理者の管理期間の変更に関する関係条例の整備に関する条例の制定	原案可決	全会一致
浜田市健康づくりと地域医療を守り育てる条例の制定	原案可決	全会一致
ラ・ペアーレ浜田条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市放課後児童クラブ条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市地域集会施設等条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市農林業関係事業分担金徴収条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市営土地改良事業に要する経費の賦課徴収に関する条例の一部改正	原案可決	全会一致
都市公園施設等に係る指定管理者の管理の期間の変更に関する関係条例の整備に関する条例の制定	原案可決	全会一致
浜田市簡易水道給水条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市営住宅条例及び浜田市一般市営住宅条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市営地域定住住宅条例の一部改正	原案可決	全会一致
浜田市火災予防条例の一部改正	原案可決	全会一致

【一般事件】	採決結果	採決状況
指定管理者の指定(サン・ビレッジ浜田)	原案可決	全会一致
財産の無償譲渡(小国教職員住宅)	原案可決	全会一致
財産の無償譲渡(旧安城保育所)	原案可決	全会一致
財産の無償譲渡(旧今福デイサービスセンター)	原案可決	全会一致
財産の無償譲渡(下谷集会所)	原案可決	全会一致
財産の無償譲渡(上田野原集会所)	原案可決	全会一致
財産の無償譲渡(小熊集会所)	原案可決	全会一致
財産の無償譲渡(山賀集会所)	原案可決	全会一致
財産の無償譲渡(野坂集会所)	原案可決	全会一致
工事請負契約の締結(浜田市立中央図書館建設に伴う建築主体工事)	原案可決	全会一致
市道路線の廃止・認定	原案可決	全会一致



本会議のようを見学・傍聴する旭町の小学生のみなさん

【平成24年度当初予算関連】	採決結果	採決状況
一般会計予算	原案可決	全会一致
国民健康保険特別会計予算	原案可決	全会一致
駐車場事業特別会計予算	原案可決	全会一致
公設水産物仲買売場特別会計予算	原案可決	全会一致
国民宿舎事業特別会計予算	原案可決	全会一致
公共下水道事業特別会計予算	原案可決	全会一致
農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	全会一致
漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決	全会一致
生活排水処理事業特別会計予算	原案可決	全会一致
簡易水道事業特別会計予算	原案可決	全会一致
後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全会一致
水道事業会計予算	原案可決	全会一致
工業用水道事業会計予算	原案可決	全会一致

【平成23年度補正予算関連】	採決結果	採決状況
一般会計補正予算(第4号)	原案可決	全会一致
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
工業用水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致

【議会・議員提出議案及び案件】	採決結果	採決状況
こころの健康を守り推進する基本法(仮称)の制定を求める意見書	原案可決	全会一致
浜田市議会委員会条例の一部改正	原案可決	全会一致
議員の派遣	決 定	全会一致

平成24年12月定例会で議員定数を決定

― 議員定数等議会改革推進特別委員会 ―

現在、「議会改革全般」と、その一環である「議員定数のあり方」の2項目を柱として、7回の熱い議論を重ねています。

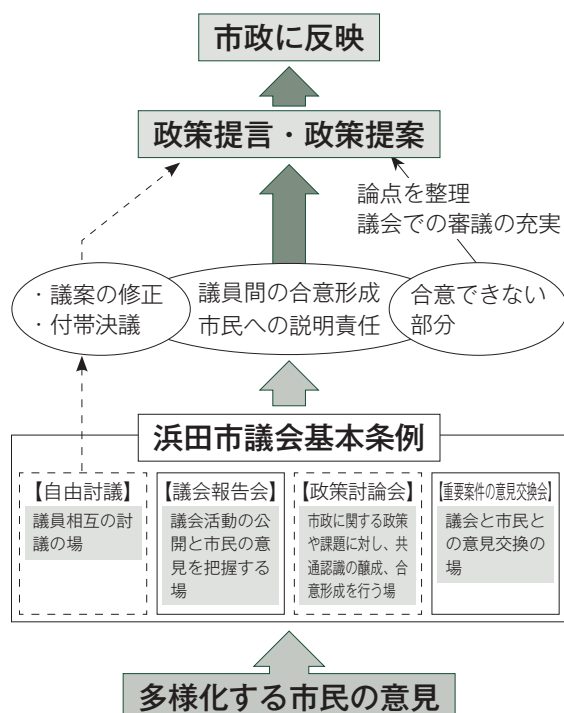
まず、「議員定数」に関しての議論は、平成24年12月定例会で、定数条例の改正を目指して多角的な切り口から検討を行っています。具体的には、人口・面積・財政力指数等類似している自治体の議員定数との比較、予算、財政的な見地、常任委員会の構成人数からの積み上げ等、幅広い調査、議論を行ってきました。

これまでの検討で決定した事項としては、「選挙区を設けず全市1区で行う」「定数の上限は28名とし、それ以下の人数を検討」としています。今後は、県立大学の識見者との意見交換会、議会報告会における市民意見の聴取、8月に予定している「市議会だより」による市民アンケートを実施し、より住民の意見も参考にしていきたいと思います。また「議会改革」に関しては、議会基本条例で謳っている「政策討論会」の実施手順等に関して、概ね規程を整備したところです。

(川神裕司 特別委員長)

特別委員会の動き

議会基本条例に規定する政策提言・政策提案の手法



□□□□ は議会内部の協議の場
 □□□□ は市民等も入っての意見交換の場

新たな行財政改革大綱・実施計画を承認

― 行財政改革推進特別委員会 ―

当委員会は、今日まで10回の特別委員会を開催しています。設置の目的、背景、運営方針などについては、平成22年11月1日発行の「市議会だより」に掲載しましたので、それ以降の活動について報告します。

平成22年10月28日の第4回特別委員会で、平成23年度から5年間の浜田市行財政改革大綱(案)



厳しい指摘をする特別委員会委員

について、審議の結果、公務災害事件の発生を受けて職場環境を改善する施策が必要との意見を付して全会一致で承認をしました。平成23年1月12日に開催された第5回特別委員会では、浜田市行財政改革実施計画の説明を受け、審議を行いました。

具体的な改革テーマとして、業務外部化の推進、総人件費の抑制、施設運営や事務事業の見直し、自主財源の確保など、全69項目で、5年間の財政効果22億円を見込んでおり、同年2月9日に審議の結果、行財政改革推進本部会議での実施計画を作成することについて、全会一致で承認しました。



かなざウェスタンライディングパーク

そして、今年3月14日には第10回の委員会を開催しました。議題は「かなざウェスタンライディングパーク」で、担当課長から、外部評価委員会で当該施設は廃止という結論が出された経過と金城支所長から、詳細な説明がありました。

それに対し、委員からは、今後の運営方針、施設の存続・廃止を含めた検討、そして指名、公募など指定管理者選定方法など、これまでの管理運営の反省に立ち、早期に結論を出すべきとの意見が多くありました。これら指摘事項については、今年2月に設置された検討チームのなかで、参考意見として協議、検討するよう求めました。(美浦美樹 特別委員長)

会派代表質問

各会派の代表が施政方針と教育方針を問う

新年度方針

各分野別の施策を質す



創新会

牛尾博美

質問 津波の安全安心対策として、東日本大震災から1年、浜田市津波防災計画の見直しがされているが、市民に分かりやすい津波ハザードマップの作成は。



答弁 津波ハザードマップは5月末までには市内全戸に配布したい。海抜表示板は市内900箇所の設置を予定。3月末までに、415箇所設置する。非難経路表示については、地域の皆さんと相談する。



質問 浜田市独自のまちづくり総合交付金事業から1年経過したが、現状と今後の展望は。

答弁 現在22団体が設立され、申請率84%で好評である。今後は、未申請地区に他地区の活動事例など紹介して事業を推進していく。

質問 合併による財政支援措置が、平成27年に終了する。自主財源を増やす取組は。

答弁 浜田市の自主財源は全体の3分1で厳しい。普通交付税は平成28年から縮減方向で、基本的に税収確保が重要と捉え、雇用の拡大、企業への支援、農業生産の向上、企業誘致など経営安定と自主財源確保に取組む。

質問 来年度から大幅な保険料の引き上げが予想されるが現状はどうか。

答弁 給付費の急激な伸びで、保険料がかなり高くなると見込む。住む市町村で保険料が異なる状況で、今後財源構成を見直し、保険者の負担の軽減等国や島根県に要望していく。

質問 育て支援について、浜田市の待機児童解消に行政として保育所への支援策と、更に政府は総合子ども園を計画しているが、親や現場では不安や戸惑いもある。市長の所見は。



答弁 浜田独自の運営費も助成しているが、保育所の中途入所希望が多く保育士の確保が課題だ。

また、全てのこどもと子育て家庭を社会全体で支援する制度で、市として本制度に期待し、その環境づくりに努める。

質問 中山間地の衰退は林業の崩壊が発端と言う。浜田市の「儲かる林業」の今後の展望は。



高性能林業機械「ハーベスタ」

答弁 当市は小規模で集約化が進みにくく木材のコストが高い。高性能林業機械「ハーベスタ」の導入を支援し、笠松市民の森を軸に川上から川下まで、総合的な流通システムの効率性や人材養成など、必要な基盤整備に取組む。

質問 TTP交渉は米が危惧されるが、市の農業の将来はどうか。

答弁 中山間地の農業は交渉によつては厳しい状況が予想される。県・市・JA・農業者と連携協力して、生産から販売の体制整備を進める。

質問 自治区を結ぶ「20分間構想」の今後の展望は。

答弁 20分間構想は、県道改良として進めている。しかし一部未改良があり、一体感醸成のためにも、引き続き県に事業化を急ぐよう要望する。

質問 ここ数年前から、公民館は、県や市の支所的な役割を担っており、従事する職員の重荷となっていないか。

答弁 公民館は、地域の重要なコミュニケーションの場であり、人づくり・まちづくりに大きく貢献している。市民に愛される公民館を目指す。



連携と挑戦で進められる 事業の具体策は！

進風クラブ

原田 義則



質問 大津波を想定したハザードマップの充実と避難路確保、市民防災意識の高揚について問う。

回答 洪水と土砂災害についての防災ハザードマップは作成しており、この度の大震災を踏まえ津波ハザードマップを作成する。この津波ハザードマップは5月末に配布し、説明会や防災研修会などを開催し、市民の皆さんへの周知と防災意識の高揚に努めていく。

また、避難所や避難路は、地域の実情把握しておられる皆さんと一緒に決めさせていただく事が有効であり大切だと考えている。

質問 認定農業者への新たな支援策について問う。

回答 平成24年度から農業機械や施設等の新規導

入の更新に対して助成を行い認定農業者の支援をしていく。

質問 林業振興について問う。



高性能林業機械「ハーベスタ」

回答 高性能林業機械の導入による施業の効率化、森林の集約化、路網の整備を進めITの活用による流通システムの効率化、人材育成など総合的な取組を考えていく。

質問 今後の漁業構造改革の具体的な取組の支援策について問う。

回答 今後の漁業構造改

革の取組の具体的な支援策については、まず沖合底曳網漁船1力統について、国の事業を活用し、リシップ等による収益性改善への取組を行う。残る4ヶ統についても県と連携し国事業と同等程度の支援を順次行い全船存続に向けた取組を進めていく。

質問 予防医療体制と本来の医療体制両面における、課題と対策に関して問う。

回答 予防医療体制と本来の医療体制両面における課題については、検診センターや麻酔科、神経内科、血液内科、小児科などの特定診療科の常勤医の不在や不足であると認識している。

これらの診療科においては、非常勤医師等により対応されているが、全国的な課題であるので、臨床研修医制度の見直しなど、医師の診療科偏在、地域偏在解消に向けた抜本的な施策の展開について、市長会等を通じて国や県への要望活動を継続していく。



医師不足が懸念される浜田医療センター

質問 図書館整備における地域経済への影響について問う。

回答 中央図書館及び三隅図書館の周辺整備を含めた事業費が25億円になり、これが一時的な経済的インパクトになると考えている。また、建設後、既存の周辺商業施設における来客数の増加や状況によっては、周辺への商業施設の新規出店も期待できるのではないかと考えている。



三隅図書館の完成イメージ

雇用の安定こそが 社会の基盤

市民クラブ

新田 勝己



質問 「社会保障と税の一体改革」や震災復興、原発処理、TPPなど混乱する政治の現状認識を問う。

回答 持続可能な社会を目指すことを掲げられ、国民の利益と国の未来に重きを置いたものとして一定の評価をしている。

しかし、震災の復興策やTPP交渉など諸課題が遅々として進まず、地方が求める結果に至っていないと認識している。

質問 雇用の安定こそが社会の基盤である。浜田市における雇用の現状はどうか。

回答 雇用の安定は、安心して暮らせることに直結している。浜田市の有効求人倍率は、1.10倍で、全国平均0.71倍を大きく上回っている。昨年、地元は誘致し

た(株)デルタC&Sをはじめ、工場等の新増設で200名を超える新規雇用に結びついている。



新規雇いでフル稼働中の(株)デルタC&S

質問 農業の再建は、TPP交渉に関わらず、その強化が問われている。浜田市の代表的な弥栄地域の農業の見直しは。

回答 弥栄の農業は、農商工連携の6次産業に取組まれている。近年、こうした6次産業化は他の自治区にも拡大されつつあり、有機栽培や加工品



水産業振興は喫緊の課題

- 格差社会における教育現場の多様性
- 海外友好都市交流
- 水産業の振興
- 林業の開発
- 産業経済の振興と地場産業の興亡
- 合併7年目の検証
- 浜田・三隅道路の部分供用開始の影響

などの開発で、農家所得の向上につながっている。



弥栄町木都賀地区の田園風景

いのち最優先で 津波等の防災対策を！

風

江角敏和



質問

ボランティア作業等から、津波対応で学んだことは、『津波でんでんこ』という言い伝え、「とにかく早く、てんでんばらばらに高台へ逃げろ」、そして「一日しのげれば何とかなる」という経験談だった。この視点で、標高の色分けをした『津波ハザードマップ』の作成等が必要ではないか。



宮城県気仙沼市の被害状況

答弁

『マップ』は、標高の高い所へ着色し、避難時の参考となるようにしたい。5月末の配布予定で、説明会なども開催



早期の防災対策を！



し広く周知する。また学校等の避難所へ物資の分散備蓄も進めていく。

質問 『自治区制度』10

年以降の在り方について、共通の土俵を作り、議論を開始すべきでは。

答弁 「当面10年間」で

スタートした『自治区制度』は、浜田市にとって最重要政策の一つであることから、議員や住民の皆さんから意見をいただき、慎重に検討したい。

質問 高齢者を支え、か

つ子育てをする世代の就労機会や、浜田の資源を

活かした起業支援の拡充が必要ではないか。

答弁 就労機会の拡充

は、市の無料職業紹介所で随時求職情報の提供を行い、起業支援は、創業

遊休農地を生きがい対策に 活用できないか！

活用できないか！



公明クラブ

佐々木 豊 治

質問 高齢化などにより、遊休農地や耕作放棄

地が年々増加傾向にあるが、農家が人手不足の一方で、定年後の生きがい

を求めておられる方々は増加傾向にある。そこで一つの提案として、農家に作れなくなった農地を

提供してもらい、市が一元管理することにより、希望者に貸し出し、誰でも気軽に野菜作りなどが

できる環境ができないかと思う。

遊休農地・耕作放棄地対策と定年後の生きがいづくりにと提案するがどうか。

後の負担緩和を目的に、県及び日本政策金融公庫が実施する総業者向け融資の信用保証料と利息の1年間の補助制度を設けている。

答弁 現在「農地利用集

積円滑化事業」において、農業参入企業や認定農業者への貸し付けを行っている。

提案のように、定年後の生きがいづくりに農地の貸し出しを希望される方と、遊休農地をマッチングできれば、地域の活性化、遊休農地の利用促進を図るうえで、とても有意義なものとなる。今後部内で議論していきたい。

3世代同居世帯を 推奨し支援を！



のどかな風情が今もなお残る弥栄町

質問 高齢者の孤立化や

家族の絆の再生を図るとともに、施設入居を抑制し、介護保険のコスト軽減の目的もある3世代同居世帯を推奨し、支援すべきでないか。

答弁 先進事例を参考に研究していく。

その他の質問

- ① 津波避難マップの策定
- ② 地方版CSR（企業の社会的責任）の推進
- ③ 介護保険事業について
- ④ 障がい者施策について
- ⑤ 財政運営について
- ⑥ 学校教育について
- ⑦ 学校施設について

3月定例会 個人一般質問

14名の議員が 市政を問う！

ライディングパーク 存続は市民の視点で



牛尾 昭

質問 検証結果によると今日の破たんを招いた結果について言及がないが、その責任は。

答弁 リーダー不在や当初計画の甘さ、計画判断に誤りがあつたと認識している。

質問 総投資額は、約25億円、市の実質持ち出しは、約11億円で一度も黒字がない。外部評価は廃止だが、存続を模索しているのはなぜか。

答弁 株主や地元の高い要望があり、金城にとって必要不可欠な施設であり残したい。

質問 赤字垂れ流しの施設が、誰にとって必要なのか。

答弁 出資者の金城町の発展に寄せる想いがある。

質問 当初計画から破たんが予測でき、むしろ出資者は被害者では。

地産地消の 積極的推進を



大谷 弘幸

質問 地産地消推進条例施行後の取組は。

答弁 平成22年度に産地強化協議会を立ち上げており、具体的には浜田市生産拡大対策出荷奨励事業での手数料補助や地産地消推進プロジェクト事業での学校給食への地元特産果樹の提供、はまだ食の大使、三國清三シェフによる味覚授業、食のセミナー等を実施しており、地元木材の利活用も市内全小学校児童の机天板への導入や長浜小新校舎での地元産材使用など、木材利用行動計画の目標に沿って推進を図っている。今後、市民へのPRと同時に、関係機関と一体的な取組を強化する。

質問 今後の推進体制と推進計画はどうか。

答弁 体制については、産地強化協議会を中心に

食育推進ネットワーク会議や学校関係者等と幅広く連携を深めて取組む方針であり、24年度には三國シェフとの連携を更に密にして、地元食材によるレシピを考案いただき、市内外に広くPRしたい。

地元木材の利用促進にも積極的に努める。今後も、地産地消推進に向け、「食育」「木育」を通じて地域への愛着を深める施策の実施に向け、目標をもって計画的に推進する考えである。



『馬に罪はない』施設内にある厩舎を視察



三國清三シェフによる授業風景

障がい福祉の向上を 石見神楽の新たな展開



芦谷 英夫

質問 障がい者自立支援法改正についての評価は。

答弁 利用者負担が応能負担に変更され、サービスが共通の制度で提供され、サービスが公平に利用できる。社会参加の機会や就労支援が充実し、就労移行支援事業が強化され評価できる。

質問 年末年始や土日の対応など、障がい者福祉サービスは。

答弁 年末年始・土日のホームヘルプサービス事業所は10力所あるが十分ではない。事業所と連携し、自立支援協議会で利用者の声や要望を把握し、ニーズに応えて行きたい。

質問 成人聴覚障がい者への両耳の補聴器交付は。

答弁 補聴器の交付基準は原則1個とされているが、取扱指針で教育上、職業上必要と認められる

場合は2個交付している。

質問 トラックを改装した石見神楽キャラバンのカーの整備は。

答弁 石見神楽をPRする一手段としてユニークな手法の提案ではあるが、課題もあり研究したい。

質問 神楽のストーリーや口上の字幕スーバーの作成は。

答弁 口上は石見神楽台本でストーリーは印刷物で分かるようにし、これらをセットで提供できる仕組みを研究したい。



石見神楽 ～ひびく八調子の鼓動～

水産業の要「浜田漁港」 を魅力ある港に！



笹田 卓

質問 水産業の要「浜田漁港」を発展させていく上でどのようなビジョンを持ち、何を実行していくのか。

答弁 まずは、基幹産業であるまき網、底引きの構造改革を推進する。

次に、新たに処理能力の高い冷凍冷蔵庫の整備、さらに老朽化した4号市場を水揚げされた漁獲物を高鮮度に保つことのできる高度衛生管理型荷捌所として整備するなど、船上、陸上での一体的な取組により安全・安心な良質の水産物が安定的に供給できる漁港を目指す。

水産物の販売力の強化のため、消費者ニーズに対応した新商品の開発やブランド化については調査・研究していく。

質問 雇用促進住宅を浜田市雇用促進住宅条例ど

おりに運営すると、家賃体系が変わることになる住民が多くいるが、その対処策は。

答弁 住民には家賃はそのまま引き継ぐことを、市が雇用促進住宅を購入する時に説明した。

このような状況になった理由は期間と家賃の関係について条例附則で規定されていなかったからだと認識している。



『魅力ある浜田漁港に！』

ライディングパークの 活用策は？



平石 誠

質問 当該施設は管理会社である(株)かなぎが本年3月末で解散し、4月から新たな管理運営者を求めるとのことだが、当該施設の設立から今日に至るまでの経緯は。

答弁 平成元年度に地元有志により構想がもちあがり、平成4年3月に資本金5千万円で第三セクターを設立。平成7年4月から営業を開始したが、営業開始までに9千6百万円の累積赤字を計上し、その後も赤字額の増加が続き、平成22年度末には約4億2千万円となった。行政は、資産の買い取りや管理委託等で営業支援を実施してきたが、経営健全化が見込めないことから、臨時株主総会において法人の解散が決定した。また、現時点で4月以降の

管理者は決定していない。

質問 観光面では厳しい状況であったが、教育や福祉面での貢献度は高いと感じている。こういう面での活用の考えは無いのか。また、4月以降の管理はどうするのか。

答弁 本庁の次長級や金城支所長等で組織する検討チームを立ち上げ、当該施設の有効利用を図っていくために、教育や福祉等あらゆる面での活用策を検討する。施設の管理については、当面、市で管理する。



全国障害者馬術大会で賑わうライディングパーク

元気ですか、幸せの コミュニティと健康



布施 賢 司

質問 多くの公園があるが、公園が増えればみんなが幸福になるだろうという発想である。震災後、特に新しいものを作るよりも「使われ方」を考えることの大切さに気づいた。今あるものを「使いこなす」、そうすれば新しいコミュニティづくりができ、信頼できる人間関係を地域に生み出すこともできる。公園の数、清掃や管理、使われ方は。

回答 123の公園や広場があり、清掃は業者や町内会、自治会にお願いしている。遊具の不備は使用中止や修繕しており、定期的に点検を行っている。目的別に活用されていると思うが、最近では高齢者を中心に、ゲートボールやグラウンドゴルフ等にも多く利用され、健康増進やコミュニティづくり

に役立っている。

質問 婚活を公園でする「スポーツ婚活」の考えや、健康遊具の設置はどうか。

回答 既存のスポーツイベントや旭での「雪合戦大会」、広域の主要イベントなどと組み合わせ、開催していきたい。健康遊具の設置も検討していく。

質問 高齢化社会でヘルスケア産業の企業誘致を。

回答 ニーズを調査研究し、誘致を働きかける。

その他の質問 ○来浜者の顧客満足度 ○頻発する交通事故死亡事故



整備が施された公園遊具

夢と希望に輝く 浜田のまちづくりを



道下文 男

質問 ブータン王国と再交流が始まり、絶好のチャンスである。是非とも世界で注目している幸福度の共有を図り、浜田の「ブランド」として全国へ発信してはどうか。

回答 世界的に注目されているが、国民性の違いもあり、慎重に検討する。

質問 子どもたちに、夢を持って浜田市に就職してもらいたい。企業と連携して地元の良さを子どもたちに促し、併せて企業評価の強化で相乗効果拡大を図る必要があるのでは。

回答 今一度企業と連携しての地域活性化について研究し、取組の強化を図りたい。

質問 地域の交通弱者が次々と犠牲となっている。より積極的な関係機関への働きかけを望むがどうか。

か。

回答 承知している。地元住民の意見を十二分に尊重し、働きかけたい。

質問 回復期治療がなされないままの即刻退院が常態化し、市民の不安が増している。圏域のリハビリ治療施策が極めて貧弱と認識するがどうか。

回答 県西部には少なく、市では1カ所のみ状況である。人材確保など対策を急いでいる。



ブータン王国の風景

米軍機の低空飛行に 毅然と対応を



西村 健

質問 米軍機の低空飛行件数について問う。

回答 06年23件、07年40件、08年33件、09年27件、10年51件、11年122件である。

質問 超低空飛行の実態と市の対応を問う。

回答 5件中、特に騒音が激しかった2件について次のとおり対応した。09年6月の弥栄小学校上空での低空飛行では、県に報告すると同時に事実確認をお願いし、米軍岩国基地からは「適正な速度と高度であり、結果的に住民に不都合があったとすれば遺憾である」とのコメントがあった。昨年9月の佐野小学校上空での飛行では、岩国基地や米大使館宛に低空飛行中止の要請文を初めて市長名で送付した。

質問 今後の対応とし

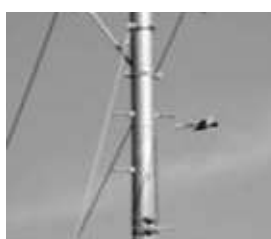
て、以下、3点について問う。

① 対応マニュアルの騒音レベルの基準は、市街地ではもっと下げるべきではないか。

② ビデオや写真撮影も検討すべきではないか。

③ 祝日の低空飛行にも対応をすべきではないか。

回答 ① 検討する。5市町で構成する対策連絡会でも協議したい。



2011年9月13日
旭町上空を低空飛行するホーネット

上下水道行政を質す！



田畑 敬二

質問 簡易水道と上水道が、平成28年度に統合されるが、統合後の水道料金は。

答弁 平成22年度の決算時点で、統合で発生する必要額のみのアップ率は、浜田自治区が50%、三隅自治区が55%、金額にすると自治区間の格差もあるが、統合後の統一単価は、3900円になる。現在、浜田自治区が2599円、三隅自治区が2799円であり、金城自治区、旭自治区、弥栄自治区は、いずれも3906円である。

質問 23年4月から下水道使用料金が、従来の人頭制から従量制に移行した結果、水道料金より下水道料金が低い自治区があることを認識されているか。

答弁 2カ月で40m使用

したとすると、浜田自治区が576円、三隅自治区が177円ほど高く、金城・旭・弥栄の各自治区は、2037円と安くなっている。

質問 使用料を人頭制から従量制に移行の際、地域説明会で家庭菜園等に使用する水道水には、別メーターを設置するとの説明であったが現状はどうか。

答弁 メーターの貸与は、三隅自治区で7件、弥栄自治区で4件である。今後、貸与については、個々に相談・協議し、対応する。



三保三隅浄化センター

ふるさとを支える力 若者の定住対策を！



岡本 正友

質問 24年度新学習指導要領の必修化の柔道について、安全面が取沙汰されているが、実施にあたりその取組について伺う。

答弁 以前の取組から、指導方法、経験が蓄積されていると考えているが、より研修を重ね、指導力の向上を図り、また外部講師やT・T授業を利用しながら安全面に留意したい。

質問 地域を担う次世代の子供たちへの定住に向けた取組について伺う。

答弁 義務教育の段階では、ふるさとの素晴らしさを伝え、ふるさとを支える若者の力が必要であることを伝えていくことが重要であると考えている。また、修学時からキャリア教育や人材育成を積極的に推進するために、産業振興機構を中心に、今

まで以上に関係機関と連携を密に図り、産官学地の総合的な調整機能が果たせるよう定住化に向けて努力する。

質問 住民に分かり易いきめ細やかな行政サービスが提供できる仕組みの構築について伺う。

答弁 マニュアルやチェックリスト等を作成、より充実させ説明や情報提供のサービスに努めたい。

その他の質問
○自己中心的で理不尽な要求に対する対応と対策（クレイマーとモンスターペアレント）



明年5月完成予定の 新図書館の運営は



三浦 美穂

質問 館長選出への実施状況と館長の決定は。

答弁 広く全国から公募し、18名の応募のうち16名が受験、合格者4名でグループディスカッション、個人面接に4名の外部委員も加わるなかで、厳正に審査した結果、1名の館長を決定した。

質問 レファレンス（参考・参照）業務に対応するためにも、司書有資格者が大事だが、図書館スタッフ配置の考えは。

答弁 具体的には、今後館長候補者を交え検討するが、日中9名程度、夜間5名程度での運営が可能となるよう調整する。

質問 学校図書館、地域図書館との連携への環境整備はどうか。

答弁 学校図書館に対する支援は、特に図書館から遠距離の小中学校に

は、県寄託団体貸出用図書を最寄りの地域図書館へ搬送する取組を行う。

質問 障がいを持った方へのサービス提供態勢は。

答弁 車いす・点字ブロック・多機能トイレを設置し、デジター図書の閲覧サービスや専用プレーヤーの館内貸出しも予定している。

その他の質問
○地域医療を守る国保診療所連合体の体制



旧医療センター跡地に建設予定の新図書館（浜田市立中央図書館）のイメージ

「まちづくり」のための 制度充実を！



川 神 裕 司

質問 全国的に「自治基本条例」の策定が進んでいる。当市として、条例における最高規範とされる「自治基本条例」の策定の意義と課題は何か。

答弁 当市としても「協働」のまちづくりを推進するための条例制定は有効と考える。ただし全国の自治体で抱える「条例制定後も住民機運が高まらない」等の課題を参考に、住民に分かりやすい条例制定に向け意見を聞きたい。

質問 先般、大阪維新の会・橋下徹氏が大阪市長に当選し、全国の自治体に強烈な改革の風を吹かせた。今後、公務員制度改革の波紋が広がる予感を感じるが、当市の公務員改革に対する市長の所見を聞きたい。

答弁 「市民目線に立つ



た市政運営」を基本に、昨年4月に決定された「国家公務員制度改革基本法」に基づく改革の全体像「や大阪市の「職員基本条例案」等の取組を勘案しながら公民改革を進めていきたい。

質問 公務員の危機管理意識改革は極めて重要である。単純ミスの連発は危機管理意識の欠落だが、今後の改善策は。

答弁 日常的な職場内研修に重点を置き、職員の意識改革を進める効果的な研修を実施したい。

その他の質問
○港湾活用新戦略など

森林の整備に 行政支援を



美 浦 美 樹

中山間地では農業振興に併せ、森林資源の有効活用と森林整備は地域の活性化に欠かせない。

質問 「笠松市民の森」をフィールドに施業の機械化を検証するとされているが、その実施内容は。

答弁 森林経営計画を策定し、作業路網の整備や利用間伐を行うなかで、ハーベスタによる施業の効率化を検証する。

質問 平成23年度末までとなっている「浜田市林業活性化事業補助金」制度の継続を要請していたが、新年度からの方針は。

答弁 過去の事業実績からも有効な事業であり、民有林整備に必要な事業と認識しており、平成26年度まで継続することとしている。

質問 林地残材のバイオマス利活用事業の支援策



上：間伐材搬出の様子 下：笠松市民の森（弥栄町）

は。

答弁 里山の復活を目指して、平成24年度から林地残材搬出に必要な路網開設を助成、間伐材をはじめ、広葉樹やナラ枯れ、松枯れの被害木等の林地残材について1トンあたり3千円の助成を平成26年度まで行うこととした。

質問 ナラ枯れ対策で、面的伐採の一層の推進を。

答弁 県に対し事業の継続と拡充を求めている。

その他の質問
○地籍調査

地域資源を活かした 観光の振興を



西 田 清 久

質問 総合振興計画後期基本計画における観光振興の戦略的な取組は。

答弁 「神々の国しまね古事記編纂1300年」大型観光キャンペーンの一環として「石見の夜神楽出張上演事業」などを開催し、宿泊観光客の誘致を図る。また、山海の豊かな自然やこの地域に根付く文化・伝統芸能を体感できる着地型観光ツアーの造成や小学生を対象とした子ども農山漁村交流プロジェクトの受け入れに積極的に取組む。

質問 事業実施の主体となる観光協会や民間の連携のあり方と、組織改革の必要性は。

答弁 旅行エージェントが催行するツアーのバス代の一部を助成する「着地型観光ウエルカム事業」を実施し、これによ



大分県竹田市「ひなのおもてなし」

り、浜田市観光協会に広報営業活動の専任職員を配置し、県外への誘致活動を強化する。また、自然体験活動の受け入れを実践している浜田市ツーリズム協議会など、各組織の得意とする分野を活かした幅広い着地型観光ツアーを展開するため、市としても事業連携をコーディネートし、官民が一体となった受入体制づくりに取組む。

市内の各地域で議会報告会を開催します

— 議員が3月定例会の審査経過など報告 —

浜田市議会では、今年から議会報告会を開催いたします。議員27名全員が4班に分かれて右表のとおり、10の地区に分けて、各地区にある公民館などを会場として開催する予定です。

議会報告会のなかでは、市民の皆様へ、先に行われた3月市議会定例会の議案審査の状況等を中心にお知らせします。

また、昨年12月の定例会で特別委員会を設置し、調査・検討しております、我々議員の定数についても、その検討内容を報告するとともに、市民の皆様から、ご意見などいただきながら、今後の議会活動の取組に活かしていきたいと考えています。

市民の皆様は右表のどの会場に行かれても結構ですので、ご来場を議員一同、心よりお待ちしております。

議会報告会の開催日時と会場

開催日	開催時間	地区（地域）	開催会場
5/14(月)	19:00～20:30	長 浜	長浜公民館
	19:00～20:30	金 城	みどり会館
5/15(火)	19:00～20:30	周布・大麻	周布公民館
	19:00～20:30	三 隅	三隅公民館
5/16(水)	19:00～20:30	浜 田	浜田公民館
	19:00～20:30	旭	旭センター
5/17(木)	19:00～20:30	国 府	国府公民館
	19:00～20:30	石 見	石見公民館
5/18(金)	19:00～20:30	美 川	美川公民館
	19:00～20:30	弥 栄	弥栄会館

三階小学校と長浜小学校の6年生が議場で議会のしくみなどを学習

2月8日(水)に浜田市立三階小学校の6年生が、2月10日(金)には、浜田市立長浜小学校の6年生が、市議会の議場で「議会のしくみ」を学習しました。児童の感想文のなかから一部を下記のとおり、ご紹介します。



☆市議会議場で学習した児童たちの感想文から(一部抜粋)☆

- ・私は、初めて市議場に入ったとき、テレビとかで見たことある場所が目の前にあって「すごくキレイ」と思いました。しかも、本当に使っている席とかに座らせていただいたので、すごくうれしかったです。
- ・私も、いつか会議をしているところ、傍聴席にすわって見てみたいです。それで早く選挙してみたいと思いました。
- ・ぼくは、最初議会の中に入る前、もうちょっと小さいところだと思っていました。しかし入るととても大きくてきれいな場所でした。市議会に行ったら分かったことは、市議会議員が28人いたことです。ぼくは傍聴席にも行ってみたいです。傍聴席には、簡単な手続きで入れるらしいので機会があれば入ってみたいです。
- ・私は、見学をして将来、議員になりたいなあと思いました。すごくおもしろそうだったし、市民の意見をまとめるのはすごいと思ったからです。議員の人は、今女性が一人だと聞いたので、私もなってみたいなあと思いました。最初は、議会とかはあまり興味がありませんでした。でも見学に行ったら実際にしてみると将来議員になりたいなあと思いました。浜田市をもっといい市にしたいです。
- ・市議会の説明を聞いている間、ぼくは緊張して手足がかたまってしまう、質問タイムの時も、緊張して手を挙げられません。ぼくは、議場に来ることはないかもしれないけど、がんばって勉強して市議会議員になりたいです。
- ・私は、今まで市議会について何をしていたとか、どういう人たちが集まって話しているのかなど分からなかったです。でも今日の学習で、何をしていたとか、どのような人がいるなども分かってよかったです。私も、早く20才以上になって投票してみたいと思います。
- ・一番心に残っているのは、仮議長というのがあるということです。ぼくは以前から議長も副議長も都合が悪くなるとどうなるのかな？と疑問に思っていました。今回の学習で知ることができて本当に良かったです。
- ・一番心に残っているのは、市議会はどのような仕事をしているのかです。ぼくは今日の市議会見学で、議会事務局の人の質問への答えで全く分からなかったことが説明できるまで理解することができました。初めて入った議場は、非常に静かで議長をやらせていただいた時は、とても緊張しました。市議会の雰囲気がいさだけ分かった気がします。何もかもが貴重な体験で、また何もかも初めての体験でした。貴重なお時間ありがとうございました。
- ・今日の市議会見学で、議員に定年がないのにおどろきました。今までは職員と同じように定年があると思っていたからです。議員の苦勞もよく分かって、浜田市の仕事についても、何をやっているのかよく分かりました。

あとがき

あの大震災から1年経った3月11日に全国各地において、被災時刻の午後2時46分に、黙祷が行われました。「始め」の合図に、全ての会話や作業が止まり、静寂が迎りを包み、厳粛のなかに多くの日本人の祈りが結集され、哀悼と防災への誓いがなされたと思っています。いつしか日本史の年表に、この平成が大災害の時代として刻まれることでしょう。大自然の脅威に、日本の再生と防災への挑戦が始まります。日本人の誇りと勇気と絆の結束力により、一日も早い復旧を願うものです。(記 岡本正友)

美浦	牛尾	山田	三浦	西田	佐々木	布施	笹田	岡本	田畑	【編集委員】
美樹	義昭	保喜	清久	豊治	賢司	卓	正友	敬二	委員	
委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長		

【議長なんでもメール】

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。必ず議長自ら回答させていただきます。(住所・氏名を明記の上、送信ください)
E-mailアドレス：chairman@city.hamada.shimane.jp